

課題名：母指 CM 関節症（母指手根中手関節症）に対する治療成績の後ろ向き・前向き観察研究

研究の目的と概要

当院では、母指 CM 関節症（母指手根中手関節症）に対して行われた保存療法および手術療法の治療成績を調べています。本研究では、過去の診療情報を用いて、治療内容、疼痛や手の機能、画像所見、合併症、再手術の有無を検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日までの間に、倉敷中央病院整形外科で母指 CM 関節症と診断され、保存療法または手術療法を受けた方。

研究に使用される情報・試料

本研究では試料は使用しません。使用する情報は、年齢、性別、患側、利き手、職業・手の使用状況、合併症、既往歴、治療歴、診断名、罹病期間、Eaton 分類等の画像病期、隣接関節病変、母指 MP 関節過伸展の有無、保存療法の内容、手術日、術式、使用材料、術後固定、リハビリテーション内容、疼痛評価、QuickDASH、Hand20、母指可動域、握力、ピンチ力、対立機能、単純 X 線所見、亜脱臼、関節裂隙、骨棘、術後アライメント、trapezial space、合併症、神経症状、感染、CRPS、疼痛遷延、追加治療、再手術、最終観察日、観察期間です。

試料・情報の研究利用開始日

2026 年 7 月 1 日（医の倫理委員会承認および院長許可後）

研究方法

本研究は、過去の診療録、手術記録、画像検査結果、外来記録、リハビリテーション記録から情報を収集し、記述的に集計・解析します。研究目的で追加の検査や治療は行いません。

研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

本研究に関するお問い合わせ、研究参加拒否、相談、苦情、またはカルテ情報の利用についてご承知いただけない場合は、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご承知ください。

問い合わせ先

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

整形外科 研究責任者 津村 卓哉

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

問い合わせ先では、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧、研究対象者の個人情報についての開示および手続、利用目的の通知、個人情報の開示・訂正等・利用停止等に関する相談を受け付けています。